

10年間ありがとうございました

奈良ブロックモデラトル セバスチャン 柳本 昭神父

奈良ブロックに転任して8年とみなさんに言っていました。手帳を見てみると奈良に来たのは2016年の春でした。ということとは10年です。わたしは手帳にその日に入った銭湯を記録しているのですが、2016年の3月から4月にかけて、彦根や長浜の銭湯から奈良の銭湯へと記録が変化していたのはつきりしました。前モデラトルの灌野神父さんが整えてくださった共同宣教司牧のシステムをそのまま踏襲させていただいたのですが、司牧チームのメンバーや各教会のみなさんと協力しながら続けてきた司牧の日々はわたしにとって喜びでした。その間には新型コロナウイルスの感染拡大で公開ミサ中止という、大きな試練もありましたが、みなさんの祈りと努力によって、何とか乗り越えることができましたことにはほんとうに感謝しています。

奈良県での10年間には教会・幼稚園のほか、町内会、キリスト教諸

宗派の方々、諸宗教の方々、お風呂屋さんで会う方々、鹿友達や鹿せんべい屋さん、そしてほくちゃんをはじめとする鹿さんたち。たくさんのお友達、お知り合いができました。みなさんとお別れするのはさみしいですが、新しい出会いがあることを期待して旅立ちたいと思います。みなさん、ほんとうにありがとうございました。さよう奈良。

また、お会いする日まで

柳本神父さまへの感謝の言葉

柳本神父さま、10年間の長い間、奈良ブロックのモデラトルとして私たちに指導いただきました。本当にありがとうございました。

神父さまのマルチタレントぶりには、いつも驚かされていました。

ミサの時の紙芝居、日曜学校の子供たち向けの聖書の漫画、そしてあの素晴らしい切り絵の数々、また

「世界難民移住移動者の日」の日本全教会向けのポスター、手話教室の開催、など多彩な活動は目をみ張るものでした。

その根底に流れているのは貧しいひと、虐げられている人々への関心の高さ。深い愛情だとも思っています。

また、ユニークなお人柄は、自ら「銭湯マニア」と称して、全国の銭湯や温泉をたずねておられました。郡山にいられた時は、市内の「大門の湯」に通われたことはみんなよく知っています。教会の駐車場に神父さまの車をみつけたときは、ほとんどが銭湯へ行かれた時でした。ね、そうですね、神父さま。

もう一つ大きなお仕事は、県下の4つの幼稚園の「学校法人カトリック・マリスタ学園」の理事長職でした。大和郡山、登美ヶ丘、大和高田、御所の各幼稚園・こども園の経営全般にわたって責任を担っておられました。

神父さま、お疲れさまでした。私たち一同、ここから感謝申し

上げます。新しい任地でも、健康に注意され、ご活躍されることをお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

大和郡山教会信徒一同



4月4日 教会最後のミサ (復活徹夜祭)



2024年 平和旬間講演会

多文化共生社会と歩む 教会を目指して

出水 洋神父

二年という短い期間でしたがお世話になりました。日曜日も他の神父様との兼ね合いもあり、あまり多く訪れる機会もありませんでしたが、行くたびに迎えてくださり感謝しています。

大和郡山教会の思い出はベトナム人共同体との一致に精一杯励んだことです。

大和郡山教会は北部のベトナム人共同体の基点になりつつあり、これから話し合っつてさらに日本人信徒とベトナム人信徒、また他の外国籍の信徒の方たちとの架け橋として働こうと思っていました。時間がありませんでした。

彼らとの出会いはベトナム人信徒の家の祝福で訪問をしたその時に「お父さんはずるい」と言われたことがきっかけでした。何がずるいのか聞いてみたら「自分たちも教会で侍者や奉仕をしたいのにさせてくれない」とのことでした。その時に大

和郡山教会では侍者がいなかったの
で「だったら侍者する？」とベトナム人信徒の青年たちに聞きました。
翌日たまたま大和郡山の担当日だったので侍者をお願いしてから始まりました。

ベトナム人の信徒もだんだんと減
ってきているのが現実です。日本人の信徒の皆様と一丸となって教会を盛り上げていって欲しいです。いつもの口癖ですが、私たちは神の前では家族であり兄弟です。みんな等しく神から愛され、尊厳をもって生きています。国籍や民族などは関係ありません。今後ともさらに国籍や民族など関係なく大和郡山号という舟に乗って船旅を続けて欲しいと思います。

出水洋神父さまへの感謝の言葉

神父さまは司祭叙階後初めての任地として、当奈良ブロックに着任され、迷える羊たちを懸命に司牧していただきましたことを心から感謝申し上げます

生まれも育ちも神戸っ子である神父さまは、その持ち前のバイタリティーと多彩な言語能力で、多くのベ

トナムの若者たちをひきつけられ
ました。ミサの中で、若者たちと唱えるベトナム語の主祷文は素晴らしいものでした

私たちの教会は、高齢化の波にのまれ、その中で多文化共生は一筋の光です。その実践を率先していただいていた神父さまを失うことは、迷える羊たちにとって悲しい出来事です。

新しい任地は風光明媚な素晴らしいところ
です。

その地での活躍を心からお祈り
しています。

大和郡山教会信徒一同

京都司教区異動 (4月6日付)

- 奈良ブロック担当司祭 奥村豊師 (京都司教区) 旧三重南部ブロック担当司祭
- 奈良ブロック担当司祭 ブリー・ヨハネ師 (サレジオ修道会) 旧三重北部ブロック担当司祭
- 滋賀ブロック担当司祭 出水洋師 (京都司教区) 旧奈良ブロック担当司祭
- 三重南部ブロック担当司祭 柳本昭師 (京都司教区) 旧奈良ブロック担当司祭

